



5病棟の生活のひとコマ 80

夏もいよいよ本番という時期に差しかかっていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の夏も非常に暑くなることが予想されますので、こまめに水分を取って体調管理を行ってくださいね。

さて今回は、5病棟で毎月行っているお誕生日会についてご紹介したいと思います。コロナ禍以前はボラン



ティアさんに出し物を披露していただく機会があったのですが、ボランティアさんの参加が難しくなった現在は、「エビ



カニクス」や「きゅうりりり体操」といったみんなが楽しめるダンス曲を患者さんとスタッフで踊ったり、歌のプレゼントとしてスタッフ全員で季節に合わせた曲を歌うなど、楽しくお誕生日会を開催しています。

栄養管理室が用意してくださったケーキを食べる時間は、患者さんの幸せそうな表情が見られスタッフも癒されています。これからも患者さんが楽しんでいただけるよう企画運営を行っていききたいと思います。

(児童指導員 森 日奈子)

やまばとギャラリー information 情報コーナー

今月の作品は「海の生きもの」です。個性豊かな魚やタコ、イカ、クラゲがやまばとギャラリーを彩っており、まるで水族館に遊びに来たかのような気分を味わうことができますよ。是非やまばとギャラリーに足を運んでみてくださいね。

(児童指導員 森 日奈子)



通所支援事業のひとコマ

皆さん「おはながみ」って聞いたことありますか？

「はな紙」は鼻をかむ時に用いる薄い紙全般(昔は「ちり紙」とも言っていましたね)を指しますが、保育の世界では卒業式や運動会の飾りでおなじみのお花(薄い紙を何枚か重ねてジャバラに畳んで、真ん中を留めて1枚1枚ひだを広げたアレ)をつくる「お花紙」として認識されています。

つうえんではその素材のやさしさから、よく製作活動にお花紙を用いています。お花紙は1枚1枚がとても薄いので、裂いたりちぎったり丸めたり、力の弱い利用者さんでも扱いやすい素材といえます。またいろいろな色があるので、視覚的にもよい刺激になります。濡らして色絵や色水を作ったり、立体的に形造ったりすることも可能です。

6月は梅雨ということで、つうえんではポリ袋にお花紙を丸めて入れて、アジサイの花を作りました。短期入

所の利用者さんとは、裂いて丸めて紙皿に貼って、カタツムリをつくりました。他にも赤色でサンタクロースを作ったり、オレンジ色でハロウィンのかぼちゃを作ったり、切り方を工夫してちょうちょにしたりと、いろいろアレンジして製作活動を楽しんでいます。最近では100均ショップでもお花紙が購入できますので、ご自宅でも楽しんでみてくださいね。

通所支援の利用者さんと作った作品は、売店横に月替わりで展示しています。ご感想などを聞かさせていただくと、利用者さんも励みになると思います。ぜひご覧ください。

(療育指導室長 村松 順子)

